

平成26年度 技術部会活動実施報告

1. 企業視察研修

企業名：日本精工九州株式会社

所在地：福岡県うきは市浮羽町古川字日精 774

実施日：平成 26 年 8 月 6 日

視察時間：13:00-15:00

〈視察報告〉

日本精工九州株式会社の人事担当者、技術者（本校卒業生含む）を交えて、企業としての取り組み、高専に求める人材などについてディスカッションを行う。その中で、うきは市のこの拠点では、研究、製品開発、生産技術開発に力を入れ、その成果を海外事業所、工場へ導入する形をとっていて、付加価値が高く特殊な製品以外は海外工場にシフトし生産力を増強するそうである。この後、工場を見学させてもらったが、卒業生の岡本さんの話によると、工作機械を購入しても、そのまま使わず自社が要求する仕様はかなり改造しているということだった。工場内は目的と役割によって区画が分けられており物品等のレイアウトにおいても作業効率と安全性の確保を考慮されていることが見てとれた。

〈参加者〉 福田室長、原技術長、大淵副技術長、中原副技術長、久保班長、茂木班長
松尾、久保川、里見、光安、白石、山北



2. 技術室技術研修会

担当者：白石

研修テーマ：「最新のオシロスコープを使った波形観測実習」

実施日：平成 27 年 2 月 18 日

実施場所：電気電子工学科 実験室(2階)

研修時間：10:00-12:00

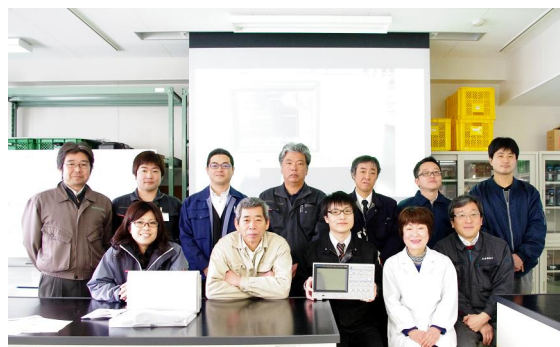
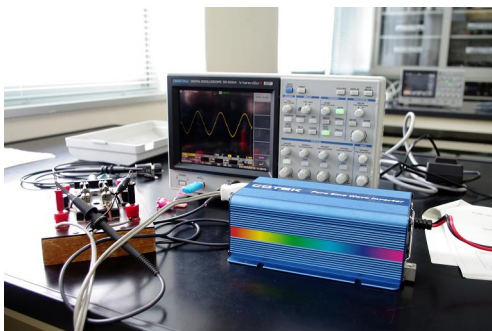
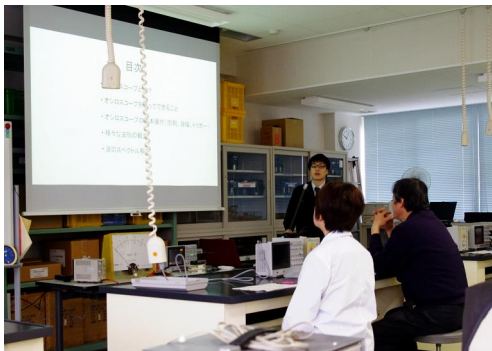
〈研修報告〉

最近のオシロスコープは特殊なものを除けばデジタル仕様のものがほとんどである。機能に比べ安価であり、FFT 機能まである。今回の研修は、そんな最新のオシロスコープの取り扱い方法を習得するとともに、電波やいろいろな波形をオシロスコープで検出し活用方法を体験するというものである。日頃、オシロスコープに接する機会がない職員が多く、操作方法に苦勞する場面もみうけられたが少しずつ操作方法を習得し興味を持って取り組んでいた。波形スペクトル解析までやれた方は少なかったと思われる。

〈実施内容〉

1. オシロスコープとは？
2. オシロスコープを使ってできること。
3. 基本操作(波形、振幅、周期、トリガー)
4. さまざまな波形の観測(電源、インバーター、音声、リモコン、AM ラジオ)
5. 波形スペクトル解析

〈参加者〉 原技術長、大淵副技術長、中原副技術長、久保班長、茂木班長
松尾、樋口、久保川、里見、光安、白石、別、山北、永田



3. 他機関研修会への参加推進

佐世保高専技術室は、技術職員の業務に関する諸問題等を共有し改善することと、技術的な情報交換の場を提供することを目的として、他の大学・高専で開催される技術研究会等へ参加を積極的に推進している。本年度は九州大学応用力学研究所技術室が主催する「第1回大学・高専技術交流会」が開催される。この技術交流会へ佐世保高専技術室から5名が参加する。また、松尾技術専門職員は「地元企業との計測機開発の取り組みと製品化への対応」という題で講演した。

「第1回大学・高専技術交流会」 主催 九州大学応用力学研究所技術室
会場：九州大学 応用力学研究所 筑紫キャンパス C-CUBE
所在地：福岡県春日市春日公園6丁目1番
実施日：平成27年3月13日
時間：09:00-17:00

〈参加者〉 茂木班長、松尾、樋口、久保川、白石